

1 研究主題

自ら考え、ともに学びを深める力の育成を目指して

2 主題設定の理由

(1) 学校教育目標から

予測困難な時代であっても、社会の変化に主体的に関わり、多様な他者と協働しながら課題を解決したり、新たな価値を創造したりして、よりよい社会と幸福な人生を創っていく姿が、私たち指導者の求める「子どもの姿」である。そこで学校教育目標を「心豊かで、たくましく生きる子の育成」と掲げた。学校教育目標の実現に向け、新しい時代に生きる子どもたちが課題に突き当たったときに、これまでに培った力をいかし、他者と協働しながら課題を乗り越える中で、解決につながる新たな考え方やよりよい考え方を、自ら生み出そうとする力を育成しなければならないと考える。

(2) これまでの研究の経過から

昨年度は、「友達と考えを共有し、自分の考えを適切に表現する力」を身に付ける授業作りを研究の柱とした。前期は、考えを伝え合う場の設定や表現に必要なキーワードの共有、書く場の設定を取り組んだ。その結果、児童は考えを伝え合ったり、キーワードを使って表現したりできた感じることができた。しかし、キーワードを使って自分の考えを適切に表現できたとは言えなかった。自分の考えを伝える場は設定できているが、適切な表現に生かすことができなかったり、キーワードの提示の捉えが曖昧だったりしたことが原因として考えられた。

後期では、前期の結果をふまえ、必ず1回は自分の考えをアウトプットすること、適切に表現するための活動を授業者が児童の実態に合わせて工夫することにした。その結果、児童同士で考えを共有することは概ねできた。しかし、適切に表現するための活動を吟味し検証することや、適用問題からねらいの達成を見取ることが十分とは言えず、適切に表現する力には課題が残った。

(3) 今年度の取組

昨年度までの「適切に表現する力」を高めることに継続して取り組み、今年度は「自分で学び方を選び、みんなでわかるにつなげる」姿を目指す。そのために、教師が児童のつまずきを予想し、見取り、手立てを考え、児童に学び方を自己決定させることで、多様な学習者に応じた学びを保障する授業づくりを行う。児童が自分で学び方を選ぶことで、一人で悩み続ける時間をなくしたり、時間いっぱい活動したりすることができるようになる。その際に、教師は、端末の活用や、ヒントの準備、発展問題の準備等をしておく必要がある。さらに、目的のある交流を行い、ねらい達成に向かう学び合いの場を意図的に作り出すことで、みんなでわかるにつなげていく。また、基盤づくりとして、「課題」と整合した「まとめ」を書くことに取り組み、適切に表現する力の基礎を身に付ける。

3 研究の内容

(1) めざす児童の姿

自分で学び方を選び、みんなでわかるにつなげよう

(2) 研究仮説

教師が、児童のつまずきを想定し・見取り・手立てを考え、児童に活動を自己決定させることによって、多様な学習者に応じた学びを保障する。また、目的のある交流の場を設定し、学び合いの場を意図的に作り出すことで、みんながわかる授業を行うことができるだろう。さらに、「課題」と整合した「まとめ」を書くことを積み重ねることで適切に表現する力を身に付けることができるだろう。

(3) 研究方法の具体

<授業づくり>

- ① つまずきを想定・見取り・手立てを考え、自己決定させる。【ワンステップ】

- ・最適な学びのコーディネート

[端末・ヒント・コメント機能・友達や教師に聞く・発展問題・教える側へ・個別支援 等]

- ② 目的のある交流の場を設定する。

- ・誤答の提示やつまずきを意図的に取り上げる。

<基盤づくり>

「課題」と整合した「まとめ」を書く。

<基礎基本の定着>

- ・漢字計算コンテスト
- ・勤堂タイム（昼の帯タイム）
- ・家庭学習

<学び合いのための環境整備>

- ・話し方・聞き方「あいうえお」の掲示
- ・声の物差しの掲示

<三偉人の教えを受け継ぐ教育活動>

- ・勤堂塾を開いた原勤堂
- ・乗客の命を救った久田船長
- ・6代目横綱 阿武松緑助

(4) 研修計画

月	取組内容
4	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【研究の方向性・取組の重点・校内研修計画の共通理解】・全体研修【学力向上ロードマップ・プランの共通理解】・全体研修【指導案の形式】
5	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【全国学力・学習状況調査 県基礎学力調査・町学力調査結果分析の共有】・研修授業・授業整理会【提案授業 3・4年】・全体研修【指導案検討・模擬授業】
6	<ul style="list-style-type: none">・研究授業・授業整理会【指導主事計画訪問 A 6年】
7	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【指導主事計画訪問 A の振り返り】・全体研修【1学期校内研究の成果と課題】
8	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【校内サポート研修】・全体研修【指導案検討・模擬授業】
9	<ul style="list-style-type: none">・研究授業・授業整理会【要請訪問 3・4年】・全体研修【前期プランの結果共有・後期プランに向けて】
10	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【指導案検討・模擬授業】・研究授業・授業整理会【指導主事計画訪問 B 2年】
11	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【取組の中間確認】
12	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【2学期校内研究の成果と課題】
1	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【指導案検討・模擬授業】・研究授業・授業整理会【要請訪問 1年】
2	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【計画訪問 C】
3	<ul style="list-style-type: none">・全体研修【今年度の校内研究の取組の成果と課題】